

# 藻 類

## THE BULLETIN OF JAPANESE SOCIETY OF PHYCOLOGY

昭和 44 年 8 月 August 1969

### 目 次

<i>Batrachospermum moniliforme</i> ROTHのシャントランシア期 直立体を経由しない本体の発出について……原口和夫・小林 弘	1
紅藻植物ナガオバネ <i>Schimmelmanna plumosa</i> (SETCHELL) ABBOTT 茨城県海岸に産す……	中庭正人 5
隠岐諸島産クロキヅタ <i>Caulerpa scalpelliformis</i> var. <i>denticulata</i> の遊走細胞の放出孔形成について……萩原 修・広瀬弘幸	7
ノリの人工培養に好適した優良品種の選択……寺本賢一郎・木下祝郎	10
ノリの人工培養における病害……寺本賢一郎・木下祝郎	16
寒天原藻——主としてオゴノリ——の輸入について (付・昭和43年度日本における寒天工業の現勢) 岡崎 彰夫	20
カナダの Atlantic Regional Laboratory の話……尾形 英二	25
学 会 録 事……	28

日 本 藻 類 学 会

JAPANESE SOCIETY OF PHYCOLOGY

## 日本藻類学会々則

第 1 条 本会は日本藻類学会と称する。

第 2 条 本会は藻学の進歩普及を図り、併せて会員相互の連絡並に親睦を図ることを目的とする。

第 3 条 本会は前条の目的を達するために次の事業を行う。

1. 総会の開催（年 1 回）
2. 藻類に関する研究会、講習会、採集会等の開催
3. 定期刊行物の発刊
4. その他前条の目的を達するために必要な事業

第 4 条 本会の事務所は会長が適当と認める場所におく。

第 5 条 本会の事業年度は 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終る。

第 6 条 会員は次の 3 種とする。

1. 普通会員（藻類に関心を持ち、本会の趣旨に賛同する個人又は団体で、役員会の承認するもの）。
2. 名誉会員（藻学の発達に貢献があり、本会の趣旨に賛同する個人で、役員会の推薦するもの）。
3. 特別会員（本会の趣旨に賛同し、本会の発展に特に寄与した個人又は団体で、役員会の推薦するもの）。

第 7 条 本会に入会するには、住所、氏名(団体名)、職業を記入した入会申込書を会長に差出すものとする。

第 8 条 会員は毎年会費 500 円を前納するものとする。但し、名誉会員（次条に定める名誉会長を含む）及び特別会員は会費を要しない。外国会員の会費は 2 米ドルとする。

第 9 条 本会には次の役員を置く。

会長 1 名。 幹事 若干名。 評議員 若干名。

役員任期は 2 年とし重任することが出来る。但し、会長と評議員は引続き 3 期選出されることは出来ない。

役員選出の規定は別に定める。（付則第 1 条～第 4 条）

本会に名誉会長を置くことが出来る。

第 10 条 会長は会を代表し、会務の全体を統べる。幹事は会長の意を受けて日常の会務を行う。

第 11 条 評議員は評議員会を構成し、会の要務に関し会長の諮問にあずかる。評議員会は会長が招集し、また文書をもって、これに代えることが出来る。

第 12 条 本会は定期刊行物「藻類」を年 3 回刊行し、会員に無料で頒布する。

（付 則）

第 1 条 会長は国内在住の全会員の投票により、会員の互選で定める（その際評議員会は参考のため若干名の候補者を推薦することが出来る）。幹事は会長が会員中よりこれを指名委嘱する。

第 2 条 評議員の選出は次の二方法による。

1. 各地区別に会員中より選出される。その定員は各地区 1 名とし、会員数が 50 名を越える地区では 50 名までごとに 1 名を加える。
2. 総会において会長が会員中より若干名を推薦する。但し、その数は全評議員の 1/3 を越えることは出来ない。

地区割は次の 7 地区とする。

北海道地区。東北地区。関東地区（新潟、長野、山梨を含む）。中部地区（三重を含む）。

近畿地区。中国・四国地区。九州地区（沖縄を含む）。

第 3 条 会長及び幹事は評議員を兼任することは出来ない。

第 4 条 会長および地区選出の評議員に欠員を生じた場合は、前任者の残余期間次点者をもって充当する。

第 5 条 会員がバックナンバーを求めるときは各巻 500 円、分冊の場合は各号 170 円とし、非会員の予約購読料は各号 250 円とする。

第 6 条 本会則は昭和 43 年 11 月 1 日より施行する。

# 日本藻類学会昭和44年度大会についての お知らせ

日本藻類学会昭和44年度大会として下記のスケジュールで、講演、総会、懇親会を行います。参加希望者は9月10日までに福島 博氏（〒171 東京都豊島区長崎1-14-5）へ連絡して下さい。とくに懇親会は会場の都合がありますので変更なきよう、出欠をお知らせ下さい。

- 1 期 日 昭和44年9月27日（土）
- 2 場 所 神奈川県労働福祉センター（横浜市中区山下町255の1, Tel. 681-8151, 国電磯子線関内駅下車, 歩いて約5分）

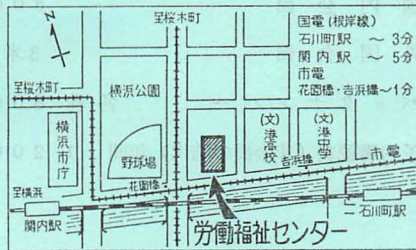
### 3 スケジュール

- 館脇正和（北大・海藻研）—緑藻とくにヒトエグサ属の変異性…………… 9：30—10：00
- 小林艶子・福島 博\*（横浜市大・文理）—羽状ケイ藻の変異性……………10：00—10：30
- 秋山和夫（東北水産研）—褐藻コンブ科とくにワカメ属の変異性……………10：30—11：00
- 熊野 茂（神戸大・理）—淡水産紅藻とくにカワモヅク属の変異性……………11：00—11：30
- 斎藤 譲（北大・水産）—海産紅藻とくにソゾ属の変異性……………11：30—12：00

### 昼 食 休 憩

- 評 議 員 会……………12：00—14：00
- 広瀬弘幸（神戸大・理）—国際植物学会議に参加して……………14：00—15：00
- 総 会……………15：00—16：30
- 懇親会：於萬珍楼（中華街）、会 費 1,000円……………17：30—20：30

### 神奈川県労働福祉センター御案内図



## 会 告

昭和44年4月より日本藻類学会事務局が  
下記に移りましたので、お知らせいたし  
ます。

### 記

神戸市灘区六甲台 神戸大学理学部

生物学教室内 日本藻類学会

(郵便番号 657)

第16回総会において昭和44年度から会費  
を次の如く改正することになりましたの  
でお知らせします。

- |                     |         |
|---------------------|---------|
| (1) 国内会員            | 800円    |
| (2) 外国会員            | 3米ドル    |
| (3) バックナンバー         | 各巻 800円 |
| (4) 予約購読料(非会員の誌代)年間 | 1,200円  |